

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成28年1月25日（月）～平成28年1月31日（日）〔第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は32.72人と前週（14.43人）から大幅に増加し、流行発生警報基準値（30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.00人と前週（9.21人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

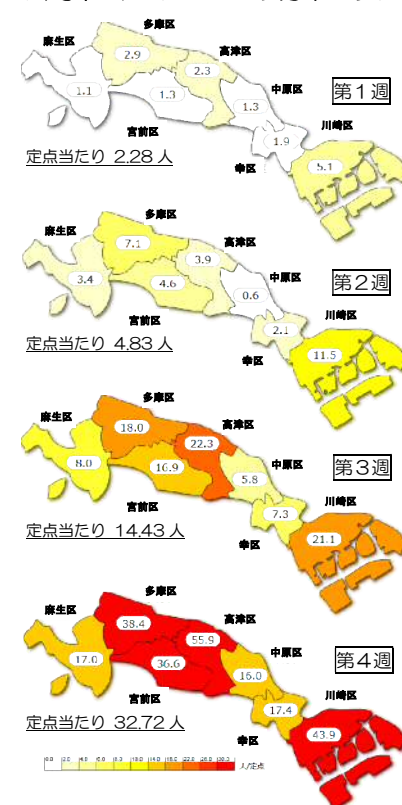


流行発生警報発令ーインフルエンザー

川崎市では、前週に引き続きインフルエンザの患者数が大幅に増加し、第4週（平成28年1月25日～1月31日）の定点当たり患者報告数が32.72人となり、流行発生警報基準値（定点当たり30人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

例年の傾向では4～8週間で流行が終息しますので、3月末頃まではインフルエンザに対する警戒が必要と考えられます。

川崎市 インフルエンザ分布マップ



川崎市のインフルエンザ流行状況

